

1. 総括

現在は定員15名のところ13名の入居者が生活をしている。今年度から、介護サービス包括型に切り替え、世話人の配置を増やした。新型コロナウイルス感染症対策として、夜勤者を配置し、夜間の緊急対応ができるよう整備した。入居を希望している方はグループホームの体験利用や見学を重ね、ケース検討会議を開きどのような支援が必要なのか検討をして受け入れを行った。更に入居してからも病院や担当ワーカーへ生活の様子を報告し地域での生活ができるよう心掛けた。入居者に内科的な治療が必要な方、精神的に不安定なことが多い方には通院同行し健康状態の把握をした。また、6か月に1度のモニタリングを実施し、個別支援計画を作成、地域の中で協力をしながら自分らしく生活ができるように必要な支援をした。

2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	11	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	11	
退所者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数	307	335	300	337	336	317	310	295	352	372	332	386	3979
1日平均利用者数	10	10	10	10	10	10	10	9	11	12	11	12	10.9

3. 担当職員

山口克明・中尾貞人・金子幸子・藤田薫・福田明子・金子健太郎・島中智也・山本裕康

4. 年間支援実施内容

健康管理

- ・症状や状況に応じて通院同行を実施した。
- ・食事前に手洗いうがいを促し風邪やインフルエンザの予防をした。
- ・本人やご家族の希望に合わせお薬を預かり、定時服薬の支援をした。

食事の提供

- ・栄養を考えたバランスの良い食事の提供を心掛けた。
- ・衛生面
- ・入居者の誕生日の日にはリクエストに応じて希望の食事を提供した。
- ・コロナ禍により、外食ができなかった為、テイクアウト等の活用により、モチベーションの維持を図った。

- ・新規GH契約者には契約時にアレルギーの有無や嗜好の聞き取りを行った。

生活支援

- ・生活状況や本人の要望に合わせ居室や共有スペースの掃除を一緒に行ったり、アドバイスしたりした。
- ・利用者のニーズに合わせた定期的な整理整頓のサポートを行なった。
- ・家電の買い替えの同行や、設置の手伝いを行なった。

相談支援

- ・友人関係での悩みや、生活の中で困っていることの相談にのった。

環境整備

- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、アクリルパネルを購入設置した。
- ・老朽化による水道修理を、必要な部屋で行った。
- ・世話人室の畳交換、照明器具交換などをして利用者さんが快適に過ごせるようにした。

防火管理

- ・地域の避難訓練は、コロナ禍により中止
- ・年間2回の防火設備点検を行った。

5. 職員研修・支援会議

職員研修

- ・職員全体研修（行動分析学オンラインセミナー）

支援会議

毎月第4火曜日9：30～から世話人による支援会議（ZOOM）を開催。

GHでの入居者の様子について共有し、意見交換を行った。モニタリング計画に基づいて、個別支援計画の策定を行った。

苦情解決・事故・ヒヤリハット報告

- ・事故防止のために、ヒヤリハット報告書は小さなことでも報告するように心がける。
- ・苦情1件（ミーティング時にマスクを着用していない人がいた）

虐待防止

- ・日々の声かけ目配により、未然防止に努めます。
- ・研修会に参加し、職員間で情報共有する。

6. 今後の課題

- ・電話を持っていない利用者さんが夜間に連絡を取りたい時にどうするか。
- ・身元引受人がいない利用者さんとの再契約（法定代理人の検討）